

スワップボディコンテナ車両 乗務員教育及び注意事項



富士運輸株式会社 成田支店
支店長 前田修



乗務員教育

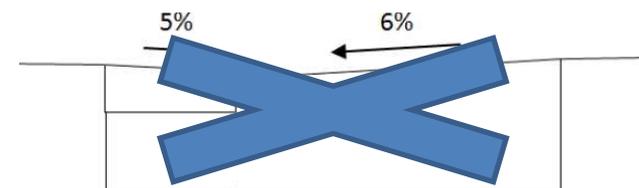
コンテナ脱着が難しくないイメージをつくる

大半の乗務員は車両調整が難しい、
手順が複雑だと思い込んでいます。



車両の運転前にマニュアルで説明すると・・・

設置可能場所の傾斜角度の説明



支持脚(アウトリガー)・ロックボルトの手順・扱い方

エアサスの調整方法 その他・・・



面倒だなあ

その前に指導者が実際に運転を行い
一連の動作をスムーズに作業する。



指導者が何度もやり直すと不安になる。

まずは、簡単な状態で練習をする

約2時間程度

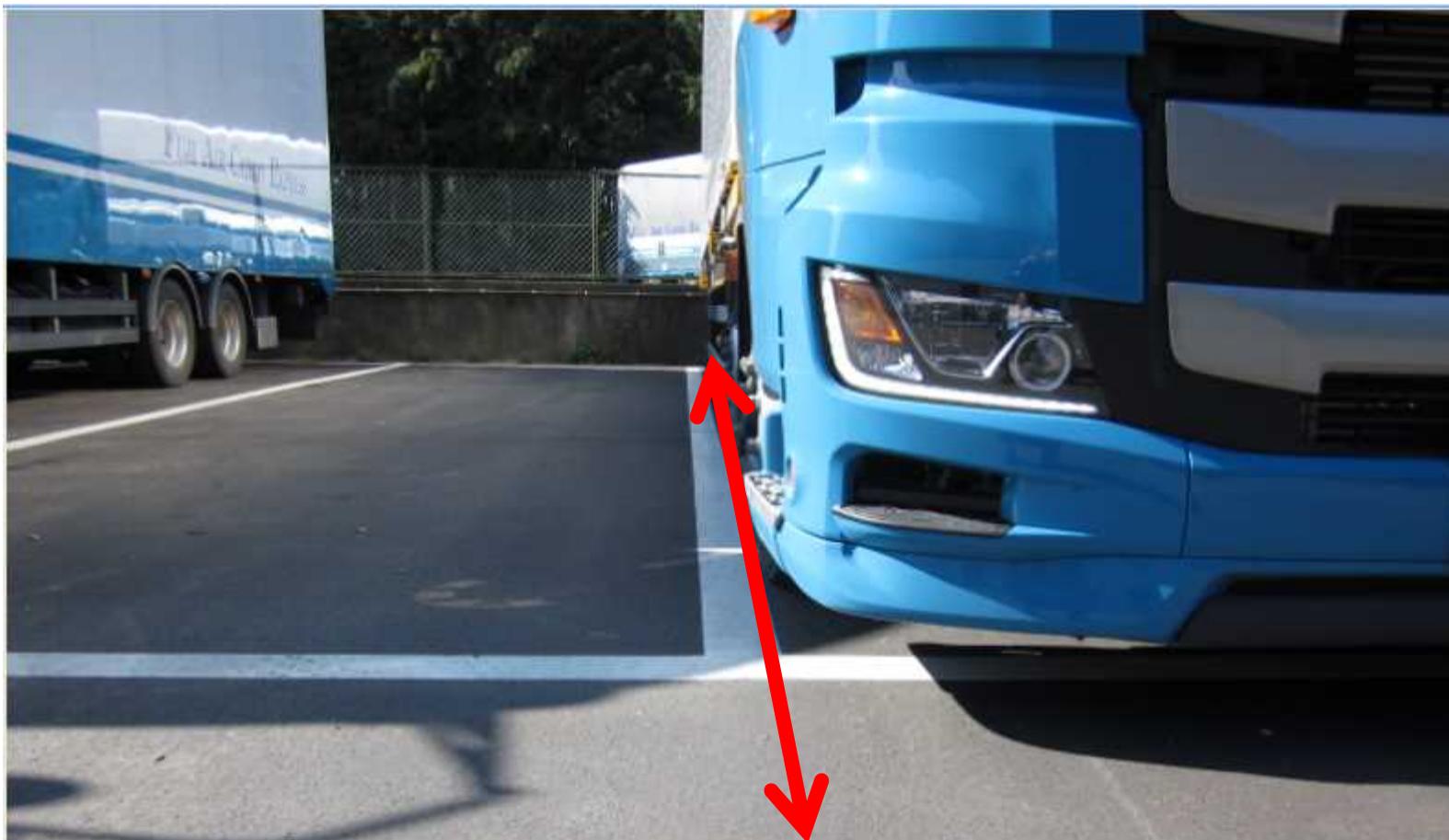


平坦な場所でライン
が引いてない場所



平坦な場所でもライン
が引いてある場所

平坦な場所でラインが引いてある場所でタイヤをラインに合わせる



タイヤを白線に合わせてコンテナを設置した場合
シャーシをコンテナに入れる際に目安になりやすい



徐々に何も無い状態で練習をする。



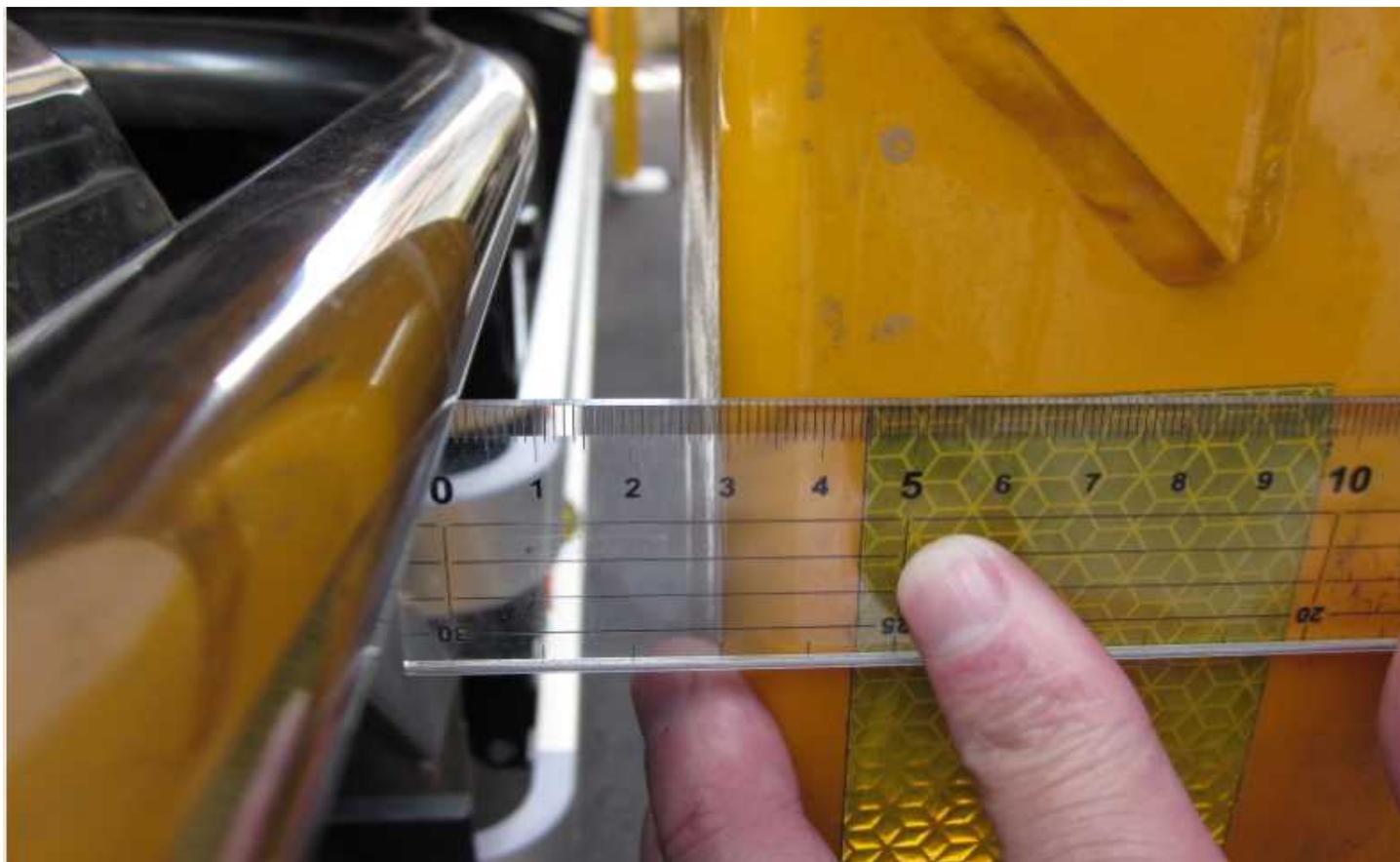
設置場所によってはラインが無い為

ガイドローラーを目標にもする事も同時に指導





ガイドローラーが正常の位置でコンテナに入れば
シャーシとアウトリガーの隙間は片側2.5CMできる



支持脚の下にプレートを設置（高さ調整・接地面陥没防止）
設置場所が平坦であれば、前・中・後に置く枚数は、
基本的には1枚ずつである。
コンテナを設置する際にエアサスを最上部まで上げた
状態で指示脚の下からプレートの隙間で判断をする事
ができる。



コンテナを設置する際に支持脚下部のプレート（1枚2.5cm）を前後で2枚以上の差（5cm）が生じた場合、コンテナと車両が傾斜角度の問題で干渉または離脱する可能性が極めて高くなるために、設置場所の変更を行うか、脱着作業を慎重に行う必要がある。



傾斜角度に問題があるとガイドローラーが正常な位置ではない状態となります。



練習の時点でこの状況つくり危険である事を認識してもらおう！



脱着時に注意してること

乗務員の声

- ☆異音が聞こえれば
すぐに停車し、目視にて確認をし、調整を行う。
- ☆エアサスについて
完全に最上部・最下部の状態であることを確認する。
- ☆コンテナを設置したのが他人である事が多いので
傾斜がわかりにくいので慎重に作業を行う。
エアサスで調整しながら脱着を行う。
- ☆夜間等の作業時
ヘッドランプを装着し手元がフリーになるようにする。

- ☆貨物積載コンテナでの運行
重量、編荷重がわからない為により慎重に。
- ☆車両から離れた場合
ロックボルト、支持脚等に異常がないか確認する。
- ☆コンテナを設置する際
作業がスムーズに行えるように設置する。
注意事項があれば直接連絡する。

ご清聴ありがとうございました。

